

## 「土地利用構想」

市民アンケートや意見交換会で、公園や歩道の整備をはじめ、暮らしづらさへの意見を多くいただいていたことから、リード文を修正するとともに、順番を入替した。

### 1. 土地利用の基本的な考え方

土地利用については、基本的にこれまでの方針を維持しつつ、市民の理解と協力のもと、それぞれの地域の特性に応じた自然環境と都市環境が調和するまちの形成を目指した土地利用を図ります。また、将来都市像の実現を目指して、関係法令や土地利用誘導施策の適正な運用や指導を図りながら、総合的かつ計画的な土地利用を進めます。

アンケート等から、生活のしづらさについての意見が多かったことから、1番にした

### 2. 土地利用の基本方針

#### ●快適でゆとりある住環境の形成を目指した土地利用

だれもが安心して暮らせる快適でゆとりある住環境の形成を図るとともに、変化する社会情勢に柔軟に対応し、道路・上下水道などの生活基盤の整備を進め、生活に必要な機能を効率的に配置するなど、住みやすさに配慮した土地利用を誘導していきます。

市民アンケートにおいて、安全・安心に係る施策への重要度が高い。

#### ●安全で安心できるまちづくりを目指した土地利用

台風や集中豪雨・地震・火災などさまざまな災害から市民生活を守るため、災害時への対応に十分配慮しながら、防災に強い環境整備を着実に進め、だれもが安全で安心にして暮らせるまちづくりに向けた土地利用を進めていきます。

アンケート等から、「自然」「美しい」というキーワードが多い。

#### ●自然と歴史文化が調和する土地利用

豊かな自然環境の保全と共生に努めるとともにを大事にしながら、歴史・文化遺産の保存と活用を図りながら、調和のとれた美しい街並みの形成を図る土地利用を進めていきます。

高野山新田地区をこれから展開していく上で、書き込みが不十分であったことから、修正

#### ●手賀沼を中心とした周辺地域の土地利用

本市のシンボルである手賀沼の水辺環境や田園風景、水の館、手賀沼親水広場などの地域資源を最大限に活かしながら、より多くの人が訪れる場の創出に向けた土地利用を誘導していきます。

水辺環境＝遊歩道や沼を意識

#### ●産業が持続的に発展をする新たな企業誘致に向けた土地利用

まちに活力を生み出すとともに、雇用や税収の確保につなげることで、将来にわたって持続可能なまちづくりを目指し、地域経済の活性化や雇用の場を確保するため、自然環境の保全・創出に努めながら、新たな産業用地の創出新たな企業誘致に向けた土地利用を検討していきます。

産業用地：広義な意味ではオフィスや店舗などのビジネス用地も含まれるが、一般的には工場や研究所、配送センターや倉庫といった「ものの生産、流通、保管」に関わる産業施設用地を指すことが多い。